

2015年5月19日 22時53分（最終更新5月20日8時46分）<毎日新聞>

## 橋下市長：「総合区」設置検討 自公に歩み寄った形に

大阪市を五つの特別区に分割する「大阪都構想」が住民投票で否決されたことを受け、大阪市の橋下徹市長は19日、自民、公明両党の大阪市議団幹部と市役所内でそれぞれ会談し、政令市まま区の権限を強化する「総合区」の設置に向けて検討を始めることで一致した。総合区制度は都構想への対案として両市議団が提案していたもので、橋下市長が両党に歩み寄った形だ。

会談はいずれも非公開で行われた。出席した自民党市議団の柳本顕幹事長によると、橋下市長は会談の冒頭、都構想の是非を巡って激しく対立していた柳本幹事長らに「住民投票、お疲れさまでした」と手を差し出し、握手した。その後、橋下市長は総合区の導入について、「各会派の意見を聞いたうえで、進めていきたい」と話したという。

柳本幹事長は終了後の記者会見で、「橋下市長と意見を交わし、他会派とも相談しながら方向性を探りたい」と述べた。

また、橋下市長はこれに先立ち、公明党市議団幹部とも面談。同党市議団によると、橋下市長から「総合区について検討するよう職員に指示している」との話があり、市議団側は「我々も案を持っている。議論できる場をしっかりと作りましょう」と応じたという。橋下市長はこの場でも自ら握手を求め、融和ムードを演出した。

総合区は来年4月施行の改正地方自治法に基づき、政令市に置くことができる。行政区に代わるもので、総合区長（任期4年）は副市長のように議会の同意を得た特別職の職員が就く。総合区長には、一定の予算編成について市長に意見を述べる予算提案権も付与される。総務省によると、他の自治体で導入を検討している動きは把握していないという。

総合区制度を巡っては、都構想が住民投票で否決されたことを受け、橋下市長が18日、市の幹部会議で職員に導入を検討するよう指示した。自民、公明両市議団は19日、プロジェクトチームを設置した。

自民党市議団は来年4月にモデルとして2区、最終的には11区を総合区とする案を示しており、今秋をめどに政策提言をまとめる予定だ。公明も24区を人口20万人規模の総合区に再編する案を検討している。

24日に初会合があつた府と大阪、堺両市でなる大阪戦略調整会議（大阪会議）は、焦点だった事務局の共同設置が見送られる見通しひとなつた。橋下徹大阪市長がこだわっていたが、3自治体それぞれに事務局を設置し、幹部同士が連携することで落ち着いた。

当初、橋下氏は「大阪会議で改革案を打ち出すには、3府市の職員が入る強い事務局が必要だ」と主張していた。ただ、橋下氏が提案した共同部署「府市連携局」は6月市議会で、自民や公明などの反対で否決。今後も3議会の理解を得るのは難しいと判断した。

卷之三

## 初日、課題協議できず

## 大阪会議 規約めぐり紛糾

**初日、課題協議できず**

**大阪戦略調整会議の会派構成と今後の日程**

<b>大阪府</b>	
松井一郎知事+ (維4、自3、公2)	
<b>堺市</b>	
竹山修身市長+ (維2、公2、 自2、ゾレイ工堺2、共1)	
<b>大阪市</b>	
橋下徹市長+ (維4、自2、 公2、共1)	
<b>8月25日</b> 堺市議会開会 <b>9月25日</b> 大阪市議会開会 <b>29日</b> 大阪府議会開会 <b>11月22日</b> 府知事、大阪市長ダブル選挙	

3自治体の首長と議員が、大阪府と大阪市、堺市の広域の行政課題について話し合う「大阪戦略調整会議」が24日、大阪市内で開かれた。会議の運営ルールとなる規約案をめぐり、大阪維新の会と他会派の議論が紛糾。規約を決定できず、課題の具体的協議に進めないまま終了した。

会合では会長に維新的今井豊府議、副会長に自民党の木下吉信大阪市議を選出した後、会議規約案の審議に入つた。橋下徹大阪市長ら維新側は、会議の設置目的が二重行政の解消であることを明らかにするため、規約に大阪会議が「大阪都

構想」の対案であることを明示する。この要求に對し、二重行政問題に特化した議論を避けたい自民は「他の課題も議論する」などと反発し、公明党や住民投票の対象にならなかつた堺市竹山修身市長も、規約中の明示に難色を示した。

最終的に採決となり、大阪府と堺市は過半数が明示に反対したが、大阪市は出席者8人（欠席2人）の賛否が同数に。設置条例では1自治体でも過半数に届かない場合は決定事項にならず、明示するかどうかも決まらないまま会議は終了。次回以降の日程も決まりず、多難な船出となつた。

II 10面に橋下氏が口火



初会合を終え、記者の質問に答える橋下徹大阪市長、松井一郎大阪府知事、竹山修身堺市長(右から)  
=24日午後、大阪市中央区

# 規約で対立波乱の船出

大阪會議

（意見を）いたい

何も決まらなかつた24日午前の「大阪駿略調整会議」（大阪会議）の初会合で、激論の「火を切つたのは、やはり橋下徹大阪市長（大阪維新の会代表）だつた。会長と副会長が選任され、話題は規約に移つてい

た。

5月の住民投票で頓挫し大坂都構想をめぐり、テレビ討論などで激しい論戦

（自民党）の「規約に大きな問題はない」との発言に、橋下氏は「大きな問題がある」とがみついた。

橋下氏は「規約に大阪会議は都構想の対案を明示すべきだ」と主張。都構想の対案なら、「二重行政の解消が自動的に大阪会議の目的となる」という狙いを述べた発言だった。

自民は「無謀な二重行政

首長や主な会派の議員が想定する大阪会議の議題

松井一郎大阪府知事・二重行政の解消 (大阪維新の会幹事長)	
橋下徹大阪市長 (維新代表)	・二重行政の解消、鉄道の新設 や延伸計画の優先順位など
竹山修身堺市長	・観光政策、成長戦略 ・大阪府と堺市の間に二重 行政は存在しない
維新 自民党	・二重行政の解消 ・成長戦略、交通、経済、環 境政策 ・無駄な二重行政があるな ら解消すべきだ
公明党	・成長戦略、経済、環境政策 ・二重行政の有無は検証し なければならない

大阪府と大阪市、堺市が統一して、  
戦略を構築し、行政課題に効率的に  
に対処することなどを目的に、  
自治体と一緒に協議する会議。  
自民党が3議会に設置条例案を提出  
出し、6月に維新や公明などの賛  
成多数で可決された。

各自治体の首長と議員9人の計  
30人で構成。成長戦略▽産業振興  
▽交通政策▽環境政策▽まちづくり  
▽などを持てば話し合う。定期  
例会が年4回あり、定期例会ごとに  
数回の会合を開くことが想定され  
ている。協議の結果は、各自治体  
の出席者それぞれの過半数で

大阪戦略調整会議

## 府と2市の統一戦略構築

（意見を言いたい）  
何も決まらなかつた24日  
午前の「大阪戦略調整会  
議」（大阪会議）の初会合  
で、激論の「火を切つたの  
は、やはり橋下徹大阪市長  
（大阪維新の会代表）だつ  
た。会長と副会長が選任さ  
れ、話題は規約に移つてい  
（自民党）の「規約に大き  
な問題はない」との発言  
に、「橋下氏は「大きな問題  
がある」とかみついた。  
橋下氏は「規約に大阪会  
議は都構想の対案と明示す  
べきだ」と主張。都構想の  
対案なら、二重行政の解消  
を交わした鶴本頭大阪市議  
は「存在しない」との立場。  
花谷充恵府議（自民）がす  
かさず、「対案と明示する  
必要はない」と牽制し、大  
阪会議の目的を「住民投票  
までしなければならないかつ  
た大阪の課題を明らかに  
したが、維新と自民の政  
府は「泥沼化」していった。  
花谷氏が「都構想は終  
った話だ」と維新側を批  
するも、松井氏は「それた  
る

にしていたのは花谷氏だと心配。柳本氏も「維新都構想という幻想の中にいたいようとしている」と批判した。

それでも両者の隔たりは埋まらない。最後に規約に対する明示すべきかを採決したが、大阪市の票が同数になると「想定外」の事態が起き、何も決まらないまま閉会となつた。

H27.7.24 Se:10

るツールとして、と述べた。事務官は「世界は、維新幹事会で、『メディア』のなかどうか答えたのが、『部構想』と強い口調で迫った。花谷氏は不快感を抱いた。花谷氏は「会議を冗談化してしまった」と言い放ち、「制度設計をする」法定義会で議論をくりやうとした。

思も垣間見えた。橋下氏は「心合わせができないないなら、はっきりさせたい」と提案。花谷氏も「経済の再生が最優先。大阪をダメにした二重行政があるなら解消する覚悟はある。一緒に力を合わせよう」。

24日に初会合があつた大阪府と大阪、堺市でつくる「大阪戦略調整会議」は、会議の進め方などで紛糾、

を見据えた議論を」とも強調。生民投票時をほうふつとさせる主張がぶつかり合った。

## 大阪会議 維新「二重行政」／自民「経済活性化」 議題対立あきれる市民

27 7-25 14 (28)

# 大阪会議はや立ち往生

ダブル選控え維新・自民衝突

17.7.25A (34)



維大阪維新の会(計12人)、自民(7)、公明(6)、共産(2)、民主系(2)、無所属(1)



開かれた大阪戦略調整会議=24日午前、大阪市中央区、山本正度撮影

大阪府と大阪市、堺市の首長と議員計30人が共通の課題を話し合う「大阪戦略調整会議」(大阪会議)。24日には、大阪都構想が残した対立の根深さを浮き彫りにした。府知事、大阪市長のダブル選挙を11月に控え、大阪維新の会と自民党が主導権争いに終始。議題するの決められず、「府市連携」は名目化しつつある。

会議開始から約10分後、「規約に大きな問題がある」とする橋下徹大阪市長

(維新代表)の発言で空気は一変した。会議は「大阪都構想の対案」であると規約に明記、会長が会議で扱う議題を選んだり優先順位を持つたりする権限を持つ

こと、自民は「ダブル選立」がある。一方の自民は「ダブル選立する」(市議団幹部)方

は、自公で必ず独自候補を立てる

る狙いがある。

一方の自民は「ダブル選立だ。ただし都構想を既案に追いつめながら、『反対

こと』の2点を求めた。

大阪会議は自民が都構想

の対案として提案し、住民

投票後に各議会で可決され

た経緯がある。自民大阪市

議団の柳本頴幹事長は「明

記の必要はない。対案など

うかは議会で議論済み」と

し、議題も代表者の会議で

決めるべきだと反発した。

激しい舌戦は約2時間続

き、規約問題には決着がつ

かなかつた。前日まで公明

党が維新と自民の間に入

り、規約を原案通りまとめ

るよう水面下で調整してい

た。そのシナリオは橋下氏

の発言で一気に崩れ、公明

議員は「これでは收拾がつ

かない」とうなだれた。

激しい対立の背景にある

のが、11月のダブル選だ。

維新側は、都構想で解決

できると主張してきた大阪

府・市の大学統合や港湾管

理の二元化を、会議で話し合った結果

た。大阪都構想に反対した自民党が設置を主導し

た同会議だが、「各府市いず

れも過半数でなければ決ま

らない」とのルールがあ

る。自民は「ダブル選立

められない」。大阪市の幹

部は「課題が話し合われる

時期すら見通せない。この

会議で何かを進めようとな

るなんて、気の遠くなる話

だ」とこぼす。(宮崎豊作)

漏らした。「会議が単なる

政争の具となっている」(自民党府

議団の花谷充倫幹事長)

閉会後も、紛糾しあった責任

を双方で押しつけ合った。

次回の日程は未定のま

だ。規約の内容を早急に決

める必要があるが、事務局

の職員は「事前に水面下で

調整できる自信はなく、次

の会合でも、またもあるか

## 橋下氏「何なんですかこの会議」

H 27.7.25 S2

大阪府、大阪市、堺市の首長と議員の計30人が委員会を務め広域の行政課題を話し合う大阪戦略調整会議(大阪会議)の24日の初会合は、規約案をめぐる採決

が特殊ルールのため賛否

の結論も出ず、空軒じ

た。「大阪都構想」に反対した自民党が設置を主導し

た同会議だが、「各府市いず

れも過半数でなければ決ま

らない」とのルールがあ

る。自民は「ダブル選立

められない」。

大阪府議(維新)がいすれ

外がる対り、この構図が続

く限り決着は見込めず、早

くも会議の限界を露呈した

との見方も出ている。

「よって、2つの案件と

も否決となりました」

約2時間の激論の末、橋

下徹市長(大阪維新の会代

表)が求めた「大阪都構想

の対案」との文言の規約案

は条例や規約案でも協議項目

一覧に記されているが、

橋下氏は自民・公明がその議席数などに基づく大

阪市議(維新)がいすれ

ども決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まされてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

議論に否定的などなどか

ら「議題化すらできない可

能性がある」とし、会長に

議題決定権を与えるよう主

張。だが維新主導の会議運

営に悩まされたこと

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まされてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

議論に否定的などなどか

ら「議題化すらできない可

能性がある」とし、会長に

議題決定権を与えるよう主

張。だが維新主導の会議運

営に悩まされたこと

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まられてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まられてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まられてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まられてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まられてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まられてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まられてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

維新が都構想以来「たわ

みに悩まられてきた野党側

は「認められない」と反発

しました。

感情的発言の応酬もあ

り、橋下氏から「いつたい

に決まらなかつたことを

告げた。追記反対に17人が

起立。全体(欠席2人と会

長を除く27人)の過半数を

占めたが、大阪市委員の反

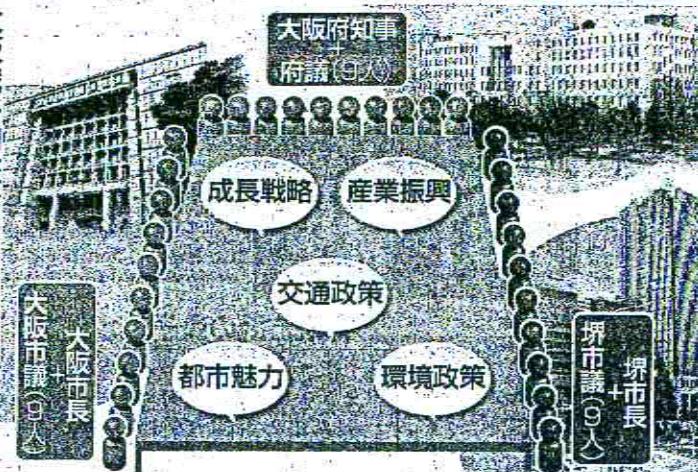
対と賛成が同数だったこと

がネックとなつた。

大阪の広域課題を府と大  
阪、堺両市の首長と議員が  
協議し、二重行政解消を目指すとして自民党が修正提  
案した「大阪戦略調整会議」  
（大阪会議）の設置条

例が10日、大阪市議会で賛成多数により可決、成立した。一方、橋下徹市長が「事務局として大阪会議を支える」と他会派の協力を求めた府と大阪市の共同組

### 大阪戦略調整会議のイメージ



## 橋下市長提案「連携局」は否決

織「連携局」の設置条例案は、自民などの反対多数で否決。橋下市長は閉会後「大阪会議はまったく機能しない。事務局を非常に軽くみている」と述べ、大阪会議の実効性に疑問符を付けた。橋下市長はさらに「次の市長が（大阪会議を）どう活用するのか、民間人について見ていいたい」とも発言。連携局の設置条例案を再提出する考えもないとした。連携局は、今月末で廃止の府市大都市局に代わる共同組織として橋下市長が提案。府市併任の職員が議論のたたき台をつくる役割を想定し、大阪会議の“裏方”を担うとしていた。

本会議直前の委員会で意見表明した大阪維新の会の杉村幸太郎市議は「大阪会議の実務機関となる連携局は理解できることには抵抗。自民の川嶋廣穂市議は本会議で「事務局は広域行政を担う府が主體となるべきだ」と主張した。

## 施行期日、協議項目など未定

大阪戦略調整会議（大阪会議）は、自民党が「大阪都構想」の対案として提唱し、大阪市議会に続き、府議会や堺市議会でも可決される見通しだ。しかし、施行期日や具体的な協議項目は定まっていない。

設置の目的は、大阪の広域課題に効率よく対処し、府と大阪、堺両市で統一した戦略をまとめるためで、協議のテーマは成長戦略や交通政策、まちづくりなど。各自治体の首長と議員9人の計30人で構成する。各自治体からの出席者それぞれの過半数で決定した議案について、首長と議員は各議会で実現に努めるとしている。

織「連携局」の設置条例案は、自民などの反対多数で否決。橋下市長は閉会後「大阪会議はまったく機能しない。事務局を非常に軽くみている」と述べ、大阪会議の実効性に疑問符を付けた。橋下市長はさらに「次の市長が（大阪会議を）どう活用するのか、民間人について見ていいたい」とも発言。連携局の設置条例案を再提出する考えもないとした。連携局は、今月末で廃止の府市大都市局に代わる共同組織として橋下市長が提案。府市併任の職員が議論のたたき台をつくる役割を想定し、大阪会議の“裏方”を担うとしていた。

本会議直前の委員会で意見表明した大阪維新の会の杉村幸太郎市議は「大阪会議の実務機関となる連携局は理解できることには抵抗。自民の川嶋廣穂市議は本会議で「事務局は広域行政を担う府が主體となるべきだ」と主張した。

橋下市長は5月の住民投票で都構想が僅差で否決されたことを受け、大阪市を残したまま府市の連携を高め、二重行政の解消を目指すための大坂会議の設置には理解を示していた。

## H27.6.11S2 「大阪会議」設置条例を可決 大阪市議会

# 現役区長胸中は

市に



公募区長制度について考えを述べる  
橋下市長=23日午後、大阪市役所

だけを見てもうまくいっている」との方にはるかに多い」と公募区長制度の意義を強調した。

## 橋下市長が再公募意向

大阪市の橋下徹市長は23日、来年3月末に任期が切れる公募区長について再公募する意向を示した。市は公募手続きを日々始めると考え。市内24区の区長の間には「続けたい」と再度の応募に意欲的な声が上がるが、かつての同僚区長が不祥事を理由に交代した経緯を踏まえ、採用に際しては「厳しく問うべきだ」と指摘する区長も。自ら望んで区政運営の第一線に立った公募区長だけに、再公募に寄せる思いはさまざまなのだ。

公募区長制度は、橋下市長の肝心の施策。公選制区長を置く「大で5人が交代した経緯がある。」と見据えて2012年橋下市長は23日の定例会見で8月1日に導入した。しかしセ「不祥事もあつたが、区の広報紙

## 「続けたい」「採用厳しく」

一方、天王寺区の水谷翔太区長は、不祥事発覚の区長が交代した経緯を念頭に「同僚として厳しく受け止めている」と語り、民間出身者を区長に採用する際は「きびしく問う必要がある。構造化された面接手法も大切だと指摘した。橋下市長は今年12月の任期満了で退任する意思を示しているため、区長の任用は次期市長に委ねることになる。

大正区の筋原章博区長も推進する水辺の活性化策を踏まえ「継続中の独自事業があるので区切りがつくまでは続けたい思いがある」と語った。

「自公はやる気ない」  
総合区で批判

橋下市長は記者会見で、自民党などが推進する「総合区」制度について、「自民や公明は全くやる気がない。50年たつてもできない」と批判。橋下氏が代表を務める大阪維新の会は総合区の独自案を作成する方針だ

めのたたき台」とし、スタンスとして「総合区は無理だから都構想だ、というのは変わらない」とも話した。

区長交代 段階的に  
橋下市長会見

大阪市の橋下徹市長は23日の記者会見で、来年3月末で任期が切れる公募区長の再公募について「一齊に代えれば、全員が（経験の少ない）『1年目区長』になる。いくつかのグループに分けて公募し、一定の経験がある区長が残る方がいい」と述べ、24区長を一齊に交代させず、段階的に代える方針を明らかにした。

27.7.24 NNN (12)

27.7.24 T25